

令和7年度 学校経営の重点化構想と評価 日光市立大室小学校

学校教育目標

国・県・市の法令、計画等
 ・日本国憲法
 ・教育基本法 学校教育法
 ・学習指導要領
 ・栃木県教育振興基本計画 2025
 ・いきいき栃木っ子3あい運動
 ・日光市学校教育基本計画(第3次)

一人一人の個性や能力を尊重し知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな創造力に富んだ児童を育成する
 ・よく考え学ぶ子 (知育)
 ・思いやりのある子 (徳育)
 ・元気でよく働く子 (体育)

保護者の願い
 ・主体的に学習できる子になってほしい
 ・心やさしい子に育ってほしい
 ・明るく元気な子に育ってほしい
 地域の願い
 ・社会に出て活躍する大人になってほしい

目指す学校像

目指す児童像
 ○自分で判断し、行動する子
 ○仲良く協力し合う子
 ○健康でみんなのために働く子

・「今日も来てよかった 明日も来よう」と誰もが言える、充実感のある学校
 ・地域と共に歩み、保護者に信頼される、開かれた学校
 ・美しい環境に包まれた、安全・安心な学校

目指す教師像
 ・子供に寄り添う教師
 ・学び続ける教師
 ・保護者、地域に信頼される教師

学校経営の方針

- 1 職員・保護者・地域が役割を果たし、協力して児童を育てる。(パートナーシップ)
- 2 愛情をもって児童を指導する。(教育的愛情)
- 3 組織で教育活動を実践する。(組織活動)
- 4 全職員が学校経営に参画し、教育活動を実践する。(参画経営)
- 5 児童の実態を踏まえて、教育活動を実践する。(児童理解)
- 6 教育の質の向上を目指して、働き方を見直す。(業務改善)
- 7 「社会に開かれた教育課程」を実現する。(地域連携：学校運営協議会)

◎重点項目

児童に身に付けたい資質能力

「コミュニケーション能力」(知識及び技能)	相手の意図を理解し、自分の言いたいことを的確に伝える能力
「自己表現力」(思考力、判断力、表現力等)	自己を認識し、自分の人生・生き方を選択し、表現する力
◎「自己解決能力」(思考力、判断力、表現力等)	自分自身で問題や課題を特定し、その解決策を見つけ、解決する能力
「自己肯定感」(学びに向かう力、人間性等)	今の自分を認め、尊重し、ありのままの自分を肯定する感覚

学校課題 見通しをもち 主体的に課題を解決する 児童の育成

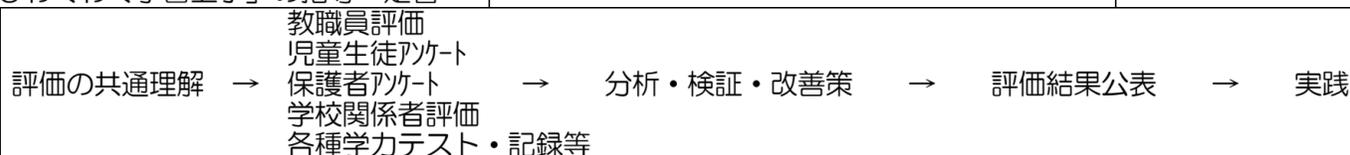
～児童が考えを広げたり深めたりし「できた」や「できそうだ」を実感できる授業づくり～

◎重点項目

今年度の努力点

よく考え学ぶ子 (知育)	思いやりのある子 (徳育)	元気でよく働く子 (体育)
1 ◎授業力の向上「主体的・対話的で深い学び」 ○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業展開の理解と実践 ◎コミュニケーション能力の育成 ・対話的な学びの充実 ◎自己解決能力の育成 ・自ら問題や課題を解決する場面の設定 ・めざす授業像づくりによる指導力向上(学校課題・探究型授業の推進) ・教科担任制の導入(社会科、理科、外国語活動・外国語を中心に) 2 学びに向かう力の育成 ○主体性を引き出す課題設定 ・実生活に生かせる課題 必然性のある課題の設定 ○ICT(一人1端末)を活用した主体的な学び 3 ◎基礎・基本の定着 ○諸学力調査を生かした学習内容の習得 ・年2回の分析、反省、改善サイクルの実施 ○家庭学習と「朝の学習」の時間における「スタディサプリ」の活用 ・取り出しによる「学び直し」の実施 4 学業指導の推進と充実 ・「学びわくわく学習上手」の指導・定着	1 ◎自己肯定感を育てる教育活動の推進 ◎自己表現力の育成 ・自己理解につながる表現活動の充実 ○よさに着目し、主体性を引き出す指導の推進 ・個人のよさを認め合う場面の設定 ○目標に向かって取り組む態度の育成 ・現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育てるガイダンス機能の充実(キャリアパスポート) 2 自他を尊重する集団づくりの充実 ○豊かな心の育成 ・道徳の授業の充実 ・人権感覚の醸成と人権意識の高揚 ○特別支援教育の充実 ・UDを意識した全学級での実践 ○よりよい集団生活を営む児童指導 ・「いきいき生活上手」の指導・定着 ・いじめ防止に向けた根拠本制・組織対応の充実 ○QULによる客観的データをもとにした集団づくり 3 協働力を育てる教育活動の充実 ・特別活動における児童主体による協働的な活動 ・学校生活の中の様々な活動を通しての意図的な指導(登校班 清掃・係活動など) ・「共遊の時間」の活用	1 体力を高めるための指導と環境の充実 ○楽しく意欲的に運動する機会と場の設定 ・楽しさを味わう体育の授業の工夫 ・新体力テストの分析結果を生かした取組(教科体育における補助運動) ・外遊びの奨励と安全に留意した遊び方の指導 2 ◎安全指導の充実 ○身の回りの安全を意識して生活できるようにするための指導の工夫 ・交通安全指導の充実 ・各種避難訓練や日常のふり返り活動を通じた危機回避能力の育成 ・組織で行う食物アレルギー対応(アクションカードの活用、家庭との連携) 3 健康の保持増進のための指導の充実 ・保健安全指導の充実(新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防対策の徹底) ・食に関する指導の充実(食を通じた地域とともにある学校) 4 勤労体験活動の推進と充実 ○児童が主体的・協働的に取り組む活動の充実 ・勤労生産活動の推進と充実(みどりっ子活動) ・自己の役割へ責任をもって取り組む児童の育成

評価の手順



※職員室経営の基本方針(重点化構想の根底にあるもの)……「教職員一人一人が自らの特性を生かし、能力を発揮する学校」
 ①授業力の向上 ②安全・安心な学校環境 ③教師の資質・能力の向上